NO.1

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
生産プロジェクト実習Ⅱ	○臼田 浩通・井上 守☆・前田 宝秀	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	90	区分	選択	分野	花き生産流通

背景と目的	『生産プロジェクト実習Ⅰ』と同様に、プロジェクト課題および温室管理に取り組む。また、この実習は1年生の『花き生産実習』と同時開講とし、栽培基礎技術を1年生に教えることを通して、マネージメント能力の向上も図る。
到達目標	・温室の栽培管理計画が立てられる。　・課題解決力が身につく。 ・施肥設計や品目、品種設定ができる。　・マネージメント能力を向上させる。 ・チームワークの重要性を理解する。
授業外の学習	日常的に花き園芸業界の動向の把握し、現状の理解と課題の発見に努める。
評価方法	取組姿勢(80%)、活動報告書(20%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方：1年生の『花き生産実習』と重複した時間は、1年生に栽培基礎技術を教える。
その他の時間および夏季休業期間中は、プロジェクト課題および温室管理に取り組む。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	1年生への基礎技術指導①	苗物ポット上げ、トルコギキョウ定植指導及びゼミ会議等	臼田・前田
2	4	1年生への基礎技術指導②	苗物栽培試験、ガーベラ管理指導及びゼミ会議等	臼田・前田
3	4	1年生への基礎技術指導③	鉢物ポット上げ、切りばら芽整理指導及びゼミ会議等	臼田・前田
4	4	1年生への基礎技術指導④	寄せ植え商品作成、ガーベラ収穫調整指導及びゼミ会議等	臼田・前田
5	4	1年生への基礎技術指導⑤	鉢物施肥出荷調整、切りばら出荷調整指導及びゼミ会議等	臼田・前田
6	4	1年生への基礎技術指導⑥	植物の仕立て方、ソラナム定植指導及びゼミ会議等	臼田・前田
7	4	1年生への基礎技術指導⑦	鉢物培養土の化学性調査、フランネル鉢上げ指導及びゼミ会議等	臼田・前田
8	4	1年生への基礎技術指導⑧	鉢物培養土調整、トルコギキョウ側枝整理指導及びゼミ会議等	臼田・前田
9	8	花き生産現場視察	生産現場を視察し、花き生産の現状と課題について理解する	臼田・井上・前田
10	4	プロジェクト課題・温室管理①	温室管理・プロジェクト課題の取り組み①	臼田・井上・前田
11	4	プロジェクト課題・温室管理②	温室管理・プロジェクト課題の取り組み②	臼田・井上・前田
12	4	プロジェクト課題・温室管理③	温室管理・プロジェクト課題の取り組み③	臼田・井上・前田
13	4	プロジェクト課題・温室管理④	温室管理・プロジェクト課題の取り組み④	臼田・井上・前田
14	4	プロジェクト課題・温室管理⑤	温室管理・プロジェクト課題の取り組み⑤	臼田・井上・前田
15	30	夏季休業中の温室管理	温室管理	臼田・前田

特記事項	授業内容は、各自の課題進捗状況などにより変更する場合がある。 花き生産コース専攻生には強く推奨する。 前期授業時間中に60時間夏季休業期間中に30時間開講する。
学生へのメッセージ	先輩として1年生に栽培基礎技術を教えることで、マネージメント能力の向上に努めましょう。

NO.2

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
フラワーデザイン実習Ⅲ	○林 誠☆、吉田 久美子☆、長縄 律子☆(客員教授)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	フローリストの仕事はクライアントの要望や予算に合わせ花束、アレンジメントはもちろんのこと、空間を花や緑で飾るディスプレイなどさまざまな技術が求められる。 本科目では『フラワーデザイン実習Ⅰ・Ⅱ』で培った技術を基に、花の原価を知り、デザインの幅を広げて発想力を豊かにし実践的な装飾技術の習得を目的とする。
到達目標	・空間を花で飾る技術を習得する。 ・花き装飾の歴史的かつ文化的行事などの知識を習得する。 ・花の原価について知る。 ・フローリストとしての発想力や応用力を習得する。
授業外の学習	図書館にある『フローリスト』、『花時間』等を読みアイデア出しを行うこと。 制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。 花材調達のため早朝市場へ行きます。
評価方法	取組姿勢(50%)、筆記試験(10%)、実技(40%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)
参考書	『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	デモンストレーションを参考に作品を制作する。 デザイン・コンセプトを自ら考え作品を制作する。 グループでディスプレイを制作する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	8	会場装花①	入学式会場装花の花材調達・準備	吉田・林
2	8	会場装花②	入学式会場装花の制作	吉田・林
3	4	花き装飾の歴史と文化	「花き装飾の歴史」と「園芸装飾の歴史」	吉田
4	4	イベントのディスプレイ①	学内会場装飾の花材調達・準備	林・吉田
5	8	イベントのディスプレイ②	学内会場装飾の準備	林・吉田
6	8	イベントのディスプレイ③	学内会場装飾の制作	林・吉田
7	4	ヨーロピアンデザイン①	「平行と交差」「共同形態」「材質感を見せる」	長縄
8	4	ヨーロピアンデザイン②	「静止と動き」「高く挿された」「材質感を見せる」	長縄
9	4	花き装飾のデザイン①	花の個性と特徴をいかす造形・デザイン理論	林
10	4	花き装飾のデザイン②	「グリーンの役割とその効果」「吸水性スポンジを使用しない花留め方法」	吉田
11	4	試験・実技	筆記試験・吸水性スポンジを使用しないアレンジ制作 (テーマに基づき各自花材調達)	吉田・林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講してください。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	フローリストとしての発想力や応用力を身につけましょう。

NO.3

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
2級フラワー装飾技能検定 対策実習	新山 星☆(非常勤講師)、○吉田 久美子☆、 長縄 律子☆(客員教授)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	90	区分	選択	分野	花き装飾

背景と目的	2級フラワー装飾技能検定は生花店で熟練した技術者が有するべき高度技術を習得を目指すための国家検定試験です。本科目は時間制限のあるなかで、3課題7デザインを反復練習することで2級フラワー装飾技能士の取得もしくは、同レベルの技術と知識の習得を目的とする。また、熟練技能者の指導を受けることで、更に高い技術を目指す。
到達目標	・2級フラワー装飾技能検定の合格水準の技術力を習得する。 ・学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。 ・実技試験練習を繰り返すことでフローリストとしての作業所作を習得する。
授業外の学習	実習で学んだ技術を復習し身につけておくこと。学科過去問題を予習しておくこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、実技(50%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書Ⅱ』(講談社)
参考書	『フラワー装飾技能検定試験・実例とポイント』（講談社エディトリアル）
関連する資格	2級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	花束・アレンジメント・ブライダルブーケの3課題7デザインを、花材の入荷と各自の習得スピードに合わせて、個別に指導を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	6	デモンストレーション	国家試験と課題の概要説明とデモンストレーション	吉田
2	4	実技試験対策①	課題1花束(ラウンドA)	新山
3	4	実技試験対策②	課題1花束(ラウンドB)	新山
4	4	実技試験対策③	課題2アレンジメント(ファン)	新山
5	4	実技試験対策④	課題2アレンジメント(トライアンギュラー)	新山
6	4	実技試験対策⑤	課題2アレンジメント(ホリゾンタル)	新山
7	4	実技試験対策⑥	課題3ブライダルブーケ(キャスケード)	新山
8	4	実技試験対策⑦	課題3ブライダルブーケ(クレッセント)	新山
9	4	実技試験対策⑧	制限時間内での花束制作テクニックの取得(ラウンドA)	新山
10	4	実技試験対策⑨	制限時間内での花束制作テクニックの取得(ラウンドB)	新山
11	4	実技試験対策⑩	制限時間内でのアレンジメント制作テクニックの取得(ファン)	新山
12	4	実技試験対策⑪	制限時間内でのアレンジメント制作テクニックの取得(トライアンギュラー)	新山
13	4	実技試験対策⑫	制限時間内でのアレンジメント制作テクニックの取得(ホリゾンタル)	新山
14	4	実技試験対策⑬	熟練技能者による指導	長縄
15	4	実技試験対策⑭	制限時間内でのブライダルブーケ制作テクニックの取得(キャスケード)	新山
16	4	実技試験対策⑮	制限時間内でのブライダルブーケ制作テクニックの取得(クレッセント)	新山
17	4	実技試験対策⑯	制限時間内での制作テクニックの取得	新山
18	4	実技試験対策⑰	熟練技能者による指導	長縄
19	8	実技試験対策⑰	制限時間内での制作	吉田
20	8	学科試験対策	フラワー装飾一般・作業方法・植物一般・安全衛生について 過去問題解説・練習問題	吉田

特記事項	フラワー装飾技能士3級取得者、実務経験2年以上のものは履修・受検可能です。また2級保持者も履修可能です。1年生で履修希望する場合は担当教員と協議し「相互科目履修」を申請し許可を受け、履修することができます。 合格するには授業外の練習も必要になります。また花材費約6万円かかります。 2級フラワー装飾技能検定の成績優秀者は全国技能五輪大会への出場のチャンスがあります。
学生へのメッセージ	合格目指してがんばりましょう。

NO.4

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
花修景実習Ⅲ	○相田 明、上野 恵☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	「花修景実習Ⅱ」に続き、学内のボーダーガーデン及び学外のぎふワールド・ローズガーデンを実習地とするこの実習は、一・二年草や宿根草、さらに樹木の植栽計画・管理の習得を目的とする。
到達目標	・公園における花修景の年間管理を理解する。 ・宿根草の芽吹きなど成長過程を観察することにより植物を見分けることができる。 ・ボーダーガーデンの植栽計画及び管理ができる。
授業外の学習	季節ごとに咲く花に関心を持ち、写真を撮るなどして変化を観察すること。
評価方法	取組姿勢(50%)、提出物(50%)
教科書	『小さくても素敵な花壇づくり』(講談社)
参考書	『ガーデン植物大図鑑』(講談社)
関連する資格	ー

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	学内の実習では講義や実習内容の説明をした後(1時間程度)、実習を行う。ぎふワールド・ローズガーデンの実習ではバスを利用し移動する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	春花壇の管理	一年草、球根などの管理(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野
2	4	夏花壇の植栽	一年草などの植栽(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野
3	4	ボーダーガーデンの植栽	初夏の宿根草などの植栽(学内)	相田
4	4	夏花壇の管理①	一年草などの植栽管理(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野
5	4	ボーダーガーデンの植栽・管理	宿根草などの植栽、管理(学内)	相田
6	4	夏花壇の管理②	植栽管理・補植(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野
7	4	秋花壇の植栽	一年草などの植栽(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野
8	2	ボーダーガーデンの管理	宿根草などの管理(学内)	相田

特記事項	実習ではハサミ、手袋、帽子、作業し易い服装が必要。
学生へのメッセージ	ボーダーガーデンは日々変化する庭です。日々管理しなければ、維持することができない庭です。四季の変化のあるボーダーガーデンをつくりましょう。

NO.5

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
造園施工・管理実習Ⅲ	○新井 俊宏☆、池上 東平☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	『造園施工・管理実習Ⅰ、Ⅱ』で行った実習の一部を再度行い、技術を確実に習得するとともに、卒業制作に向けて必要となる造園技術の習得を目標とする。 施工実習では、これまでの実習で得た技術を生かして、学内外に造園施設を制作する。管理実習では、学内庭園や植物について時期や生育特性に合わせた管理方法について年間を通した実習をする。
到達目標	・造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。 ・造園施設(張芝、石積み、園路、景石など)の施工方法を習得する。 ・造園空間の特性を理解する。
授業外の学習	・学内造園空間のエリア管理を必要に応じ行うこと。 ・「Landscape Design」、「庭」、環境緑化新聞等を読むこと。
評価方法	取組姿勢(70%)、提出物(30%)
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)
参考書	『造園技術ハンドブック』(誠文堂新光社)
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	学内の庭園や植栽地及び学外(ぎふワールド・ローズガーデン)の実習フィールドにおいて、造園施工作業及び造園管理作業の実習を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	造園管理①	学内庭園の管理(学びの森、実習棟前花壇メンテナンス)	新井
2	4	造園管理②	ぎふワールド・ローズガーデン・実習フィールド花壇の管理(学外)	新井
3	4	造園管理③	ぎふワールド・ローズガーデン・庭園の管理(学外)	新井
4	4	造園管理④	常緑樹、落葉樹の剪定(本館前庭園)	池上
5	4	造園管理⑤	学内庭園の管理(実習棟前花壇植替え)	新井
6	4	造園管理⑥	学内庭園の管理(学びの森、研修棟花壇植替え)	新井
7	4	造園管理⑦	常緑樹、落葉樹の剪定(芝生広場周辺)	池上
8	4	造園管理⑧	学内庭園の管理(芝生広場周辺)	新井
9	4	造園管理⑨	学内庭園の管理(実習棟前花壇、学びの森、研修棟花壇メンテナンス)	新井
10	4	造園管理⑩	学内庭園の管理(学びの森)	新井
11	4	造園施工①	学内庭園の整備(学びの森・園路整備・既存階段撤去)	新井
12	4	造園施工②	学内庭園の整備(学びの森・園路整備・丁張設置)	新井
13	4	造園施工③	学内庭園の整備(学びの森・園路整備・石積)	新井
14	4	造園施工④	学内庭園の整備(学びの森・園路整備・舗装)①	新井
15	4	造園施工⑤	学内庭園の整備(学びの森・園路整備・舗装)②	新井

特記事項	実習時は作業着、グローブ、保護帽などを着用すること。天候などの理由により実習内容を変更する場合がある。夏期の高温時の実習では、熱中症防止のため帽子を着用し水分補給をすること。
学生へのメッセージ	造園の基本的な知識や技術、センスをこの授業でしっかり身につけてください。

NO.6

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
造園計画演習	○相田 明、新井 俊宏☆	

授業形態	演習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	学園祭とぎふワールド・ローズガーデンの岐阜県立国際園芸アカデミー実習フィールドで施工する小庭園の計画・設計を行う。「卒業研究・卒業制作Ⅰ」や「造園施工・管理実習Ⅲ」の授業と関連を持たせながら、構想、計画、設計の一連の流れを理解することを目的とする。
到達目標	・縮尺の概念と感覚を理解する。 ・発想力、デザイン力、プレゼンテーション力を高めることで造園空間を計画することができる。
授業外の学習	積極的にスケッチをすること。
評価方法	取組姿勢(50%)、提出物(50%)
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)
参考書	『ガーデンデザインのプレゼンテクニック』(彰国社)
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	小庭園の設計は学園祭と、ぎふワールド・ローズガーデンで施工する図面を作成する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	学園祭小庭園の構想	計画・設計作業の流れと基礎調査(現地測量、現況図・計画平面図の作成、構想立案)	相田・新井
2	4	学園祭小庭園の計画・設計	個人案の作成	相田・新井
3	4	学園祭小庭園のプレゼンテーション	各自案の提示、質疑応答・講評	相田・新井
4	4	ぎふワールド・ローズガーデン実習フィールド小庭園の構想	全体構想(テーマ・コンセプトの設定)、基本構想・基本計画(ゾーニング・動線計画・園路計画など)	新井・相田
5	4	ぎふワールド・ローズガーデン実習フィールド小庭園の計画・設計①	平面図・立面図・断面図・詳細図	新井・相田
6	4	ぎふワールド・ローズガーデン実習フィールド小庭園の計画・設計②	イメージスケッチの作成	新井・相田
7	4	ぎふワールド・ローズガーデン実習フィールド小庭園のプレゼンテーション	各自案の提示、質疑応答・講評	新井・相田
8	2	まとめ	学園祭、ぎふワールド・ローズガーデン小庭園のまとめ	相田・新井

特記事項	―
学生へのメッセージ	これまで学んだことを生かしながら、設計を進めましょう。

NO.7

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
2級造園技能検定対策実習	○新井 俊宏☆・若尾 光秀☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	造園技能士は造園に関する知識と技能の試験を行い、その合格者に与えられる国家資格である。造園技能士は、一般の家庭の庭づくりや維持管理ばかりでなく、大規模な公共工事の現場で従事することが義務づけられるなど、社会的な必要性が高まっている。本科目では2級造園技能検定の合格を目指す。
到達目標	・学科試験の合格水準に達する知識を習得する。 ・実技試験の課題制作が、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。 ・実技試験の判断等試験に出題される樹木を判別することができる。
授業外の学習	・実技試験の自主練習 ・学科試験、判断等試験の自主学習
評価方法	取組姿勢(80%)、実技(20%)
教科書	『造園実技作業の手引き』(日本造園組合連合会)、『造園技能検定学科試験問題集』(日本造園組合連合会)
参考書	『葉っぱでわかる造園樹木図鑑』(講談社)
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	学科試験対策は、『造園技能検定学科試験問題集』の過去問題を解きながら解説を行う。 実技試験対策は、練習場において、繰り返し課題を制作して練習する。 判断等試験対策は、学内の樹木枝を標本木として枝、葉、芽などの特徴を覚える。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	試験概要	試験の概要説明、道具の説明、実技練習準備	新井
2	4	判断等試験対策①	樹木枝の収集、樹木の特徴解説	新井
3	4	学科試験対策①	過去問題(R3年度)による学科試験の出題傾向と対策	新井
4	4	実技試験対策①	実技試験課題の練習(竹垣)①	若尾・新井
5	4	実技試験対策②	実技試験課題の練習(竹垣)②	若尾・新井
6	4	実技試験対策③	実技試験課題の練習(縁石、敷石)	若尾・新井
7	4	学科試験対策②	過去問題(R2年度)による学科試験の対策	新井
8	4	実技試験対策④	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)①	新井
9	4	学科試験対策③	過去問題(R1年度)による学科試験の対策	新井
10	4	実技試験対策⑤	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)②	新井
11	4	実技試験対策⑥	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)③	新井
12	3	判断等試験対策②	判断等試験対策	新井

特記事項	担当教員と事前に相談の上、「相互科目履修申請書」を提出し、許可を受けた1年生も履修することができる。天候などの理由により実習日程を変更する場合がある。
学生へのメッセージ	1級造園技能士の資格を持つ教員が試験合格に向けての知識・技能を指導します。

NO.8

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
商品動向リサーチⅡ(M2)	○井上 守☆	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	必修	分野	マーケティング

背景と目的	一般に植物の呼称は和名、学名、英名、品種名、俗名などが錯綜しており、小売店、ガーデンセンターなどの現場において、植物名を正しく扱うことは複雑で難しいと感じている社員が少なくない。そこで、本科目では、『商品動向リサーチⅠ』から引き続き、集大成として豊明花き㈱の年間取り扱い上位250品目の学名や管理方法などを学習し、就職先で頼りにされる存在になることを目的とする。
到達目標	・取り扱い上位300品目に学名や管理方法について理解する。 ・MSエクセルにおいて、ピボットテーブル、統計関数などを活用してデータベースを作成できる ・データベースから植物について正しい情報発信ができる。
授業外の学習	授業時間外でもリストの植物を常に意識して、生育観察や写真撮影を心掛けておくこと。
評価方法	試験(100%)
教科書	『園芸大図鑑』(ブティック社)
参考書	『学生に役立つEXCEL2013　応用編』(FOM出版)
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	『商品動向リサーチⅠ』で学習した秋・冬期150品目に続き、春・夏期のみに登場する上位100品目を加えた250品目のリストが渡され、日本ライン花木センターでリストの植物を探し撮影して、MSエクセルにて250品目のデータベースを作成する。最後に250品目について、写真から植物名を同定する確認試験を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	データベース作成①	データベースの作成手順	井上
2	4	MSエクセル　実習	ピボットテーブル、統計関数を用いた、データ分析、データ処理	井上
3	4	花木センターでの写真撮影(4月:春の植物)	観葉植物を中心とした春の商品ついて写真撮影・調査する。	井上
4	2	データベース作成②、植物調べ①	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ	井上
5	4	花木センターでの写真撮影(5月:初夏の植物)	ペラルゴニウム、ベゴニアなど初夏の花物を中心に写真撮影・調査する。	井上
6	4	データベース作成③、植物調べ②	データ入力、画像整理、図鑑による植物調べ	井上
7	4	花木センターでの写真撮影(7月:夏の植物)	夏のギフト商品、和物の鉢物、樹木などを中心に写真撮影・調査する。	井上
8	4	データベース完成	データベースを完成し発信、総括、評価	井上
9	2	試験	筆記試験	井上

特記事項	デジカメ(スマートフォン可)、USBメモリ等が必要
学生へのメッセージ	素晴らしいイベントの企画や商品提案のセンスは、突然頭にひらめくものでありません。実は確かな植物の基本的知識から生まれているのです。一緒に汗を流しましょう。

NO.9

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
キャリアデザインⅡ	○佐藤 智茂☆、伊藤健文☆(非常勤講師)、 鈴木友美☆(非常勤講師)	

授業形態	講義	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	必修	分野	マネージメント

背景と目的	人生100年時代を生きる若者は、働き方もこれまで標準(モデル)とされている形態から大きく変化する可能性が指摘されている。 『キャリアデザインⅠ』で育んだ勤労観や職業観をもとに、家計に関する知識、働く際に必要となる労働や租税(主に所得税)に関する基本的な法律知識、また協働のためのディスカッションスキルを学び、新しい時代に生きる自らの働き方生き方をデザインできるようになることを目的とする。
到達目標	・金銭面での具体的な生活設計を理解する。 ・採用試験(面接)への対応を知る。 ・建設的なディスカッションを体感し、協働の必要性を理解する。 ・基本的な労働法、租税法(主に所得税)を理解する。
授業外の学習	・新聞を読み、社会経済の動静に関心を持つこと。 ・配布した資料をしっかり読む(読み返す)こと。
評価方法	取組姿勢(40%)、提出物(40%)、小テスト(又は課題レポート)(20%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	ライフプラン作成	生活費(1ヶ月)の計画を通して給与を考える	佐藤
2	2	就職活動について①	求人票を見るポイント	佐藤
3	2	就職活動について②	面接試験の流れ、面接のポイント	佐藤
4	2	就職活動について③	前回に続き、面接試験の流れ、面接のポイント	佐藤
5	8	グループ討議(会議)の実践	ディスカッションを通して意思疎通や合意形成などを体感する	佐藤
6	2	労働法①	就職活動の際に知っておきたいこと	佐藤
7	2	労働法②	契約と労働条件	佐藤
8	2	労働法③	働き始めておかしいな、と気付いたら	佐藤
9	2	労働法④	弁護士(岐阜県弁護士会派遣講師)の講義「労働法を知る大切さ」	伊藤・鈴木
10	2	給与明細について①	給与明細の見方、給与の仕組み	佐藤
11	2	給与明細について②	給与等にかかる租税・社会保険制度の概要	佐藤
12	2	租税制度(主に所得税)	給与等にかかる所得税(源泉徴収・年末調整制度)	佐藤

特記事項	弁護士による講義は岐阜県弁護士会の法教育メニュー「出前授業(講師派遣)」によるものである。
学生へのメッセージ	働く人として知っておくべき労働や租税に関する基本的な知識を学び、そして協働感覚を養いましょう。

NO.10

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
起業・経営シミュレーション(M2)	○佐藤 智茂☆	

授業形態	講義	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	マネージメント

背景と目的	企業活動とは経営資源を活用し、利潤の最大化を図ることであり、企業へ就職することはこの活動へ参加することでもある。 自らが起業すると想定し、どのように経営資源を活かすかという視点で自分なりのビジネスモデルを考えことを通じ、自分にとっての働く意味や意義を考える機会とする。
到達目標	・経営理念、ビジョンといった『上位概念』の重要性を理解する。 ・マーケティング・損益計算書(財務諸表)の基本を理解する。 ・簡単な起業・経営計画書の作成ができる。
授業外の学習	・新聞を読み、社会経済の動静に関心を持つよう努めること。 ・参考書を一読すること(図書室内で開架)
評価方法	取組姿勢(50%)、プレゼンテーション(50%)
教科書	―
参考書	『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(ダイヤモンド社) 『18歳からの経営学』(集英社インターナショナル)
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	経営学の基礎	ビジネスのあらまし	佐藤
2	2	基本理論①	組織にとって"目指すもの"の大切さ(経営理念　①)	佐藤
3	2	基本理論②	働く人にとって"目指すもの"の大切さ(経営理念　②)	佐藤
4	2	基本理論③	企業の組織に関する基本的知識	佐藤
5	2	計画書作成①	第2回～第4回講義部分の"起業・経営計画書"を作成	佐藤
6	2	基本理論④	マーケティング(顧客)	佐藤
7	2	基本理論⑤	マーケティング (セグメンテーション→ターゲティング、ポジショニング)	佐藤
8	8	基本理論⑥	マーケティング(4P・AIDA)	佐藤
9	2	計画書作成②	第6回～第8回講義部分の"起業・経営計画書"を作成	佐藤
10	2	基本理論⑦	経営資源としての"カネ"を考える	佐藤
11	2	基本理論⑧	財務会計(損益計算書)	佐藤
12	2	予想損益計算書作成①	予想損益計算書を作成①	佐藤
13	2	予想損益計算書作成②	予想損益計算書を作成②	佐藤
14	2	計画書作成③	これまでに作成した"起業・経営計画書"を1つにまとめ、整える	佐藤
15	2	プレゼンテーション	各自の起業経営計画書の発表	佐藤

特記事項	受講者の理解度を勘案し、授業内容・進捗を変更することがある。
学生へのメッセージ	授業タイトルに"起業・経営"とありますが、働く人すべてに関係ある学習内容であると考えます。興味を持った学生はぜひ受講してください。

NO.11

科　目	担当教員(○主担当)	SDGs
園芸文化研修	○今西 良共☆、武田 純☆(客員教授)、鹿野 陽子☆(客員教授)、加藤 友規☆(非常勤講師)、小笠原 誓☆(非常勤講師)	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	選択	分野	文化・利用

背景と目的	人は植物を観ること、食すること、活用することを通じて自らの生活・環境をより豊かなものにしてきた長い歴史があり、私たちと植物、引いては園芸・造園は切っても切れない強い結びつきがある。 この授業では、歴史・文化の一大集積地である京都を訪ね、日本の園芸・造園の歴史を体現している都市公園や文化財庭園などを視察し、伝統文化に対する見聞を広げ、考察を深める。
到達目標	・日本の園芸・庭園文化を体感し、自らの見識を養い理解する。 ・これまでに学んできた「花と緑」に関する知識や技能と園芸・庭園文化との繋がりを理解する。 ・園芸・造園の社会的意義を知り、長い歴史に培われて来た文化的景観を理解する。
授業外の学習	配布資料を通読し、必要に応じ各自にて事前または事後の予備学習を行うこと。 視察先ごとにレポートとしてまとめておくこと。
評価方法	取組姿勢(20%)、レポート(80%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	京都視察研修は夏季休暇中に集中授業(2泊3日)として実施予定である。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	江戸の園芸文化	江戸時代の資料を見ながら当時の園芸文化を知る	小笠原
2	2	京都の庭園文化	南禅寺、無鄰菴、對龍山荘、天竜寺など	今西
3	2	花版「世界ふれあい街歩き」	ヨーロッパ、北アメリカ、東南アジア、オセアニアの各地の花文化	小笠原
4	8	京都視察研修(1日目)	①講義:造園の思想と技法 ②視察:梅小路公園(朱雀の庭を主に)	今西・武田
5	8	京都視察研修(2日目)	視察:南禅寺、無鄰菴、對龍山荘　等	今西・加藤
6	8	京都視察研修(3日目)	視察:天龍寺庭園及び嵐山公園界隈(文化財庭園・景観)	今西・鹿野

特記事項	京都研修における移動交通手段は本学マイクロバスを利用する予定である。 京都研修時の服装や行動等、団体行動であるため指導教員の指示に従う必要がある。 視察先は、諸事情により変更になることがある。
学生へのメッセージ	『千年の都』とも称される京都の文化財庭園・都市公園・文化的景観を訪ね、そして観ることを通して日本の園芸文化を肌で感じ、学んでください。

NO.12

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
植物管理基礎実習Ⅲ	○前田 宝秀、臼田 浩通、吉田 久美子☆、林 誠☆、相田 明、新井 俊宏☆、井上 守☆、佐藤 智茂☆	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	30	区分	必修	分野	植物管理

背景と目的	花き生産・花き装飾・造園緑化の各分野において、四季を通じて植物を管理するための知識および技術は必ず習得すべきものである。また、習得した知識・技術を他人に伝える能力は、社会で働く上で重要である。 本科目では、『植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱ』を通じて1年間学んできた植物管理知識、技術、経験を1年生に伝えることで、自分自身のレベルを再確認するとともに、どのように相手に対して自分が持っている知識、技術、経験を伝えれば良いのかを学ぶ。
到達目標	・春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。 ・春・夏期における潅水技術を習得する。 ・春・夏期における温室の管理技術を習得する。 ・上記の知識・技術を他者に伝達する能力を身につける。
授業外の学習	・実習前に、当日および翌日の天気予報を必ず確認すること。 ・実習後に週間レポート用紙に当日の気温、天気、実習内容、1年生への指導内容等を記入すること。
評価方法	取組姿勢(80%)、レポート(20%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	原則1週間(水曜日～翌週火曜日)を単位として管理実習を行う。学生の班編成を行い、半期の計画を作成して実習を行う。学生の班編制は、季節の作業内容や管理するエリア等を考慮して人数を決める。原則として1年生1名に対して2年生1名が組み、担当教員が植物管理について指導を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	植物の種類と管理	植物の種類に応じた管理方法	週担当教員
2	4	土壌と潅水①	土壌の性質と水管理	週担当教員
3	4	土壌と潅水②	自動潅水と手潅水による管理技術	週担当教員
4	4	植物の生長・開花①	環境(温度・光・水・風)の変化による植物の生長の違い	週担当教員
5	4	植物の生長・開花②	植物の特性に応じた環境調節(遮光、保温、暖房等)技術	週担当教員
6	4	植物の総合管理	花殻摘み・除草などの植物維持管理技術、病害虫の種類と生態	週担当教員
7	4	1年生への指導	植物管理について習得した知識、技術の1年生に対する伝達、指導	週担当教員
8	2	春・夏期の植物管理方法	春・夏期の各エリアの植物管理方法(講義)	週担当教員
9	2	エリア整備	各エリアの整備を通じた、環境美化意識の向上	週担当教員

特記事項	半期の計画に基づき、おおむね1週間の実習を複数回行う。 祝日及び長期休暇期間中も行う。 実習時間は平日は朝8時から8時45分、夕方16時35分から17時05分まで、祝日及び長期休暇期間中は朝8時30分から9時30分、夕方16時から17時までとする。
学生へのメッセージ	『植物管理基礎実習Ⅰ・Ⅱ』を通じて身に付けた植物管理についての知識、技術を再確認すると同時に、1年生への管理指導を行うことでさらなるスキルアップを目指して下さい。

NO.13

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
海外視察研修	○井上　守☆、吉田 久美子☆、相田 明、 各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	90	区分	必修	分野	国際性

背景と目的	グローバル化の流れは園芸業界にも押し寄せ、もはや好むと好まざるに関わらずに対応してゆかねばならない。そこで、世界最大規模のチェルシーフラワーショウの開催に合わせて英国を訪問し、最新のフラワーデザインやガーデン展示と花き関連施設を視察し、国際都市ロンドンの園芸産業の動向を理解する。 また、ロンドンやコッツウォル地方の伝統的な有名庭園をめぐり、イングリッシュガーデンの普遍的な魅力を理解することで、園芸の新、旧の魅力を融合して、園芸に関する理解を深めると共に国際感覚を養う。
到達目標	・チェルシーフラワーショウ及び国際都市ロンドンで、フラワー、ガーデンの最新のデザインを知る。 ・英国の有名庭園を知る。 ・英国の花き流通施設を知る。 ・海外体験を通して国際感覚を養う。
授業外の学習	イギリスに関するニュースに興味を持ち、特に園芸・庭園関係に関する情報については、必要に応じて留め置くこと。
評価方法	取組姿勢(引率教員60%、コース教員20%)、報告会(20%)
教科書	ー
参考書	ー
関連する資格	ー

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	視察は7泊9日でコッツウォルズ3泊、ロンドン4泊。5月19日～5月27日を予定。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	ガイダンス	概要説明	井上
2	2	事前研修①	英国園芸の歴史とその特徴	相田
3	2	事前研修②	ヨーロッパのフラワーデザイン	吉田
4	2	事前研修③	研究テーマ設定	各コース担当教員
5	64	海外研修	＜コッツウォルズ地区＞ ボートンオンザウォーター ヒドコートマナーガーデン、キフツゲートコートガーデン バイブリー、スードリー城 ブレナム宮殿 ＜ロンドン地区＞ フラワービジョン キューガーデン、ウィズリーガーデン チェルシーフラワーショウ グレートディクスターガーデン、シシングハーストカースルガーデン ＜班別テーマ視察＞ 各自のテーマで視察	井上
6	10	報告書とりまとめ	報告書とりまとめと報告会資料作成	各コース担当教員
7	8	海外視察研修報告会	個別テーマについて報告	各コース担当教員

特記事項	渡航先の諸事情により、視察先が変更となる場合がある。 新型コロナ感染状況等によっては、国内視察研修に変更する場合がある。 諸事情により海外視察研修に参加できない場合は、担当教員と相談のうえ、国内研修に振り替えることができる。報告会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	チェルシーフラワーショウが開催される5月後半は、園芸業界は繁忙期で一度就職してしまうと、なかなか見に行くチャンスはありません。若いうちにチェルシーを見て刺激を受ける事ができるのは学生の特権といえます。

NO.14

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
インターンシップⅡ	○各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	選択	分野	就業体験

背景と目的	新卒者の3年内離職率は過去平均して40%程度で推移しており、就業後のミスマッチが発生していると考えられる。 本科目では学生が受入先企業・団体等で「実際に職務を遂行するための姿勢や態度」を実践することで、今後の職業・企業選択に活かし、また授業への動機付けとなることを目的とする。
到達目標	・社会人として働くに当たっての心構え、マナーを習得する。 ・受入先企業・団体等の全般的な仕事内容に関して、体験に基づいた知見を習得する。
授業外の学習	返却された『日報』をしっかり通読する時間を設け、自らの体験学習を振り返ること。
評価方法	受入先企業評価(50%)、日報及び報告書(50%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	①担当教員と十分な事前相談→②受入先企業・団体の指導の下で7日間の就業体験→③報告書の作成

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	事前準備	受入先企業・団体や従事期間の相談	各コース担当教員
2	56	インターンシップ実施(7日間)	受入先企業・団体等での業務に従事(実習)	各コース担当教員
3	2	報告書作成	報告書の作成	各コース担当教員

特記事項	受入先企業・団体等の選定や事前の準備など、専攻するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業等の一員である」意識を持ち、ビジネスマナーに留意すること。また実習時の怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に注意すること。
学生へのメッセージ	選択授業ですので『インターンシップⅠ』以上に自分なりのテーマを持ち、就職を検討している業界・業種・企業の仕事を学び、今後の学習への動機付けとしてください。

NO.15

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅰ (花き生産コース)	○臼田 浩通、井上 守☆、前田 宝秀	

授業形態	演習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	生産現場では生産技術だけでなく、課題解決能力が求められる。本科目では、研究課題を個別で設定し、調査・研究に取り組む。ここでは、主に予備的な調査・研究を行う。課題解決法としてよく用いられる、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(見直し)で表されるPDCAサイクルという手法を活用し、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	・課題解決力を身につける。 ・PDCAサイクルを理解する。
授業外の学習	授業時間外であっても、課題研究で扱う植物については常に観察を行うこと。
評価方法	取組姿勢(70%)　活動実績書(30%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	個別課題を設定し、調査・研究を行う。 PDCAサイクルを活用する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	個別課題の設定	個別課題の設定に向けた調査	臼田・井上・前田
2	2	個別課題計画書の作成準備	担当教員との調査・研究打合せ	臼田・井上・前田
3	2	個別課題計画書の作成	課題解決に向けた計画の作成	臼田・井上・前田
4	4	計画内容の発表	調査・研究計画の発表と見直し	臼田・井上・前田
5	2	試験区設置	ほ場での試験区の設置	臼田・井上・前田
6	16	課題解決に向けた調査・研究	課題解決に向けた調査・研究の実践	臼田・井上・前田
7	2	中間とりまとめ	調査・研究の中間とりまとめ	臼田・井上・前田
8	2	調査・研究打合せ	担当教員との見直し検討	臼田・井上・前田
9	2	調査・研究内容の見直し	調査・研究内容の見直しと追加	臼田・井上・前田
10	2	追加試験区の設置	ほ場での追加試験区の設置	臼田・井上・前田
11	12	追加調査・研究の実践	追加調査・研究の実践	臼田・井上・前田
12	4	とりまとめ	試験結果のとりまとめ	臼田・井上・前田
13	4	調査・研究結果の発表	調査・研究結果の発表と検討	臼田・井上・前田
14	2	調査・研究計画の見直し	試験結果に基づいた課題解決に向けた計画の見直し	臼田・井上・前田
15	2	試験計画の見直し	調査・研究のふり返りと卒業研究・卒業制作Ⅱへの準備	臼田・井上・前田

特記事項	個別課題に取り組むため、進捗状況などにより授業内容は変更する場合がある。 鉢物、苗物および切り花の栽培技術、商品開発、流通技術等に関する研究テーマとする。
学生へのメッセージ	課題の発見、課題解決に向けた試験計画の作成、試験の実行、試験結果の評価、試験計画の見直しを通じて、社会人として必要な課題解決能力を身につけましょう。

NO.16

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅰ (花き装飾コース)	○林 誠☆、吉田 久美子☆、國井 理佐(非常勤講師)、長縄 律子☆(客員教授)	

授業形態	演習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	これまで学んできた花き装飾の知識と技術の集大成として、実践的な装飾技術の習得を目的とし、『卒業研究・卒業制作Ⅱ』に向けての個人卒論テーマへの序章とする。 主にここではグループ活動としてミーティングを繰り返しウエディングやフューネラルなど会場装花の制作に取り組み、セレモニーのトータルコーディネートを経験し学ぶことを目的とする。
到達目標	・デザイン力、提案力、応用力、コミュニケーション能力を習得する。 ・セレモニーのトータルコーディネートを経験し空間を花で飾る技術を習得する。
授業外の学習	予定や計画、準備や進行状況などグループで確認を行うこと。 制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。 花材調達のため早朝市場へ行きます。
評価方法	取組姿勢(50%)、筆記試験(10%)、実技(30%)、レポート(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)
参考書	『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)、 『NFDウエディングフラワーコーステキスト』(日本フラワーデザイナー協会)
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	グループでミーティングを行いデザイン・コンセプトを考えます。 グループでウエディングやフューネラルなどの会場装花を制作しセレモニーのトータルコーディネートを行います。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	フューネラル装花①	フューネラル装花の全容	長縄
2	4	フューネラル装花②	フューネラル装花の企画	長縄
3	4	フューネラル装花③	フューネラル枕花の制作	長縄・林・吉田
4	8	フューネラル装花④	フューネラル装花の制作	長縄・林・吉田
5	4	技術指導	「花と緑の連携授業」「オープンキャンパス」などのアシスタント指導	吉田・林
6	4	ウエディング装花①	ウエディング装花の全容	國井
7	4	ウエディング装花②	ウエディング装花の企画	國井
8	4	ウエディング装花③	ウエディング装花の花材調達・準備	林・吉田
9	4	ウエディング装花④	ウエディングブーケ・ガーランド制作	國井・林・吉田
10	8	ウエディング装花⑤	ウエディング装花の制作	國井・林・吉田
11	4	まとめ	装花制作の考察・まとめ	林・吉田
12	8	試験・実技	筆記試験・ウエディングブーケ・コサージュ・ヘッドピースの制作 (各自花材調達)	國井・林・吉田

特記事項	実習にふさわしい服装で受講してください。
学生へのメッセージ	みんなで感動を与えるような会場装花を制作しましょう。 自分の得手不得手を見つけ、後期の個人課題の設定や進路選択に活かしましょう。

NO.17

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅰ (造園緑化コース)	○相田 明、新井 俊宏☆、鈴木 奈津子☆(非常勤講師)	

授業形態	演習	開講時期	2年 前期	時間数	60	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	本実習では、前半は小庭園づくり、後半ではぎふワールド・ローズガーデンで施工を行う。これらを通じて、造園の仕事の流れである、構想、計画、設計、施工、管理について理解することを目的とする。
到達目標	・構想、計画、設計、施工、管理の流れを理解する。 ・自分が担当した工種に責任を持つ。 ・共同作業の重要性を理解する。
授業外の学習	予定や計画、準備や進行状況などグループでミーティングを行うこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、提出物(50%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	小庭園を学内(学園祭)と、ぎふワールド・ローズガーデンで施工する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	学園祭小庭園の施工①	測量	相田・新井
2	4	学園祭小庭園の施工②	資材・植物材料の準備	相田・新井
3	8	学園祭小庭園の施工③	造成工、園路工	相田・新井
4	8	学園祭小庭園の施工④	広場工、植栽工	相田・新井
5	4	学園祭小庭園のまとめ	撤去、報告書作成	相田・新井
6	4	ぎふワールド・ローズガーデン 実習フィールド小庭園の施工①	計画地現況測量(平板測量、レベル測量、地形測量)、現況平面図の作成	新井・相田
7	4	ぎふワールド・ローズガーデン 実習フィールド小庭園の施工②	測量、丁張設置	新井・相田
8	4	ぎふワールド・ローズガーデン 実習フィールド小庭園の施工③	造成工、園路工	新井・相田
9	8	ぎふワールド・ローズガーデン 実習フィールド小庭園の施工④	広場工、植栽工	新井・相田
10	8	ぎふワールド・ローズガーデン 実習フィールド小庭園のまとめ	報告書作成	新井・相田
11	4	造園作品論	造園作品の紹介	鈴木

特記事項	施工中は安全に注意すること。造園作品の紹介は現場視察を予定している。
学生へのメッセージ	学生が設計し、自ら施工する授業です。小さな造園空間ですが、実際の現場と同じ工程ですので、卒業後、必ず役に立つでしょう。

NO.18

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
公園･緑化概論	○今西　良共☆	

授業形態	講義	開講時期	2年後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	新たな時代に対応する都市公園の管理運営業務を総括的に計画、実行するマネジメント能力を備えた人材が求められています。 そのために都市公園･都市緑化に関する基本知識、幅広い意識とビジョンの涵養および最新の知識の習得を図るものです。
到達目標	･都市公園･都市緑化に関する基本法令、制度についての基礎知識を習得する。 ･都市環境の改善及び都市の防災性の向上等、今日の都市が直面している課題の解決に資する都市公園･緑化のあり方、都市公園における適切な維持管理等について知識や知見を習得する。
授業外の学習	公園や街路樹など日常的に関心を持って観察し、写真などに記録すること。
評価方法	取組姿勢(20%)、レポート(80%)
教科書	―
参考書	『公園管理ガイドブック改訂版―公園管理運営のための必携書』（一般社団法人　公園財団）
関連する資格	公園管理運営士、造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	緑の機能と役割	公園とは、緑地とは、公園緑地行政の歩みと概要	今西
2	2	緑に係る施策と制度の体系	緑の施策体系、緑の制度の体系、緑の基本計画	今西
3	2	緑に関わる法令	都市公園法、都市緑地法など	今西
4	2	緑の保全と緑化の推進	施策･事業	今西
5	2	公園緑地の整備	施策･事業	今西
6	2	公園緑地の管理運営①	維持管理	今西
7	2	公園緑地の管理運営②	運営管理、市民協働、指定管理者制度	今西
8	2	公園緑地の管理運営③	公園経営とこれからの公園緑地	今西
9	8	現場視察研修	･指定管理の公園(鶴舞公園) ･民間活力導入の施設(名城公園･久屋大通公園) ･民間都市開発による緑化(名駅周辺)	今西
10	2	道路空間緑化①	道路における緑への期待、街路樹の変遷、街路樹の現況	今西
11	2	道路空間緑化②	道路における法規制等、道路空間の計画と設計、維持管理	今西
12	2	事例紹介	公園緑化にかかる最新事例の紹介	今西

特記事項	視察先は変更する場合がある。
学生へのメッセージ	将来、公園緑地の現場で実務責任者として必要な知識を幅広く身に付けましょう。

NO.19

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
造園工学・施工論	○新井 俊宏☆、日比 真一☆(非常勤講師)	

授業形態	講義	開講時期	2年 後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化

背景と目的	建設業法で定められている造園工事業では、その専門性に精通している造園施工管理技士の資格を有した人材が必要とされている。造園施工管理技士学科試験合格のためには幅広い出題範囲をカバーした受検対策が必要となる。本科目では現場経験のない学生を対象として、造園施工管理技士2級学科試験合格を目指す。
到達目標	・2級造園施工管理検定の学科試験について合格水準に達するよう知識を習得する。
授業外の学習	・教科書で予習を行うこと。 ・各授業で学んだことをノートに整理すること。 ・過去問題を解き、自分の苦手とする項目を重点的に学習すること。
評価方法	取組姿勢(80%)、筆記試験(20%)
教科書	『2級造園施工管理試験』(オーム社)
参考書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)
関連する資格	2級造園施工管理技士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	施工管理の職能	資格と実務	日比
2	4	造園材料	石材、木材、セメント、タイル、レンガ、植物材料(樹木、一年草、宿根草、球根)等	新井
3	4	土壌と肥料、植生、植栽計画、移植工、植栽工	土壌、肥料、植生、調査と計画、植栽施工準備、移植の条件と方法、植栽時期と施工	新井
4	4	植栽管理、公園施設	整姿剪定、病害虫、遊戯施設、屋外運動施設等	新井
5	4	土工、コンクリート工、舗装工、擁壁工	盛土と切土・土量の配分・建設機械と施工能力等、コンクリートの施工と品質管理・アスファルト舗装・鉄筋コンクリート擁壁等	新井
6	4	建築工事、設計・測量、設備関連工事	木造建築・茶室・測量・設計図書等、建築工事・電気工事・給水工事・排水工事	新井
7	4	安全衛生、施工及び施工管理関連法令、最近の試験動向	安全衛生に関する法令・施工及び施工管理に関連する法令	新井
8	2	最近の試験動向	学科試験・実地試験経験記述	日比
9	2	試験	筆記試験	新井

特記事項	在学中は第一次検定のみ受検可能である。第二次検定は実務経験年数2年以上で受検可能となる。
学生へのメッセージ	造園施工管理技士は、造園施工管理会社、公園管理団体、公務員などの職場で必要となる資格なので、造園分野への就職希望者には学科試験の受験を薦めます。

NO.20

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
SNSプロモーション	○井上 守☆、尾関 純子☆(非常勤講師)	

授業形態	演習	開講時期	2年後期	時間数	30	区分	選択	分野	マーケティング

背景と目的	SNS(ソーシャルネットワークサービス)の普及により、誰もが簡単に情報の入手・発信ができる時代となってきている。今では企業のSNSによる商品の情報発信は、必要不可欠な営業戦略となっている。本科目では、YouTubeによる情報発信を、動画の編集からアップロードまでの実践を通して、SNSにおけるプロモーションを学ぶ。
到達目標	・YouTubeの仕組みを理解する ・SNSのリスクを知る ・Adobe Premiereまたはビデオエディターを使って動画編集できる ・YouTubeにプロモーション動画をアップロードできる。 ・クリエイターツールによるアクセス解析ができる
授業外の学習	興味のある園芸関係のYouTubeの動画を見ておくこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、制作物(50%)
教科書	資料を配布
参考書	『YouTube完全マニュアル　ビジネスに役立つ！』(秀和システム)
関連する資格	ー

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	受講者はアカデミーで学んだ知識や技能を情報発信する動画を作成し、YouTubelにアップロードして、発表を行う。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	SNSとは	SNSの利用とそのリスク	井上
2	4	YouTubeでできる事	YouTubeのサービスの内容とコンテンツと著作権	井上
3	4	YouTube事例研究①	動画が配信される仕組み	井上
4	4	YouTube事例研究②	企業におけるYouTubeの活用例を研究、ストーリーボード作成	井上
5	4	先進事例視察	花のユーチューバー尾関純子氏(花創人ガーデニング教室　代表)のスタジオを訪問	尾関 井上
6	6	動画編集、制作	各自において動画撮影、編集(タイトル、説明文、タグの設定、BGM、企業ロゴを入れる、字幕の挿入、映像効果等)	井上
7	4	YouTubeの広告とアクセス解析	動画撮影、Adobe Premiere、ビデオエディターによる動画編集	井上
8	2	発表会、アクセス解析	発表会の後、クリエイターツールによるアクセス解析と総合評価	井上

特記事項	動画撮影のためスマートホン、デジタルカメラ等を用意する。
学生へのメッセージ	動画編集は、こだわれば長時間に及ぶことがありますが、完成後の達成感があります。また、卒業後振り返ると、いい思い出になります。

NO.21

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
インターンシップⅢ	○各コース担当教員	

授業形態	実習	開講時期	2年後期	時間数	150	区分	必修	分野	就業体験

背景と目的	新卒者の3年内離職率は過去平均して40%程度で推移しており、就業後のミスマッチが発生していると考えられる。 本科目では学生が『職場体験実習Ⅰ・Ⅱ』を踏まえ「仕事に臨む姿勢や態度」を十分に実践できるようになることを目指す。また就職・企業選択など今後の進路選択活動を円滑に行うための、そして今後の授業を自分の学習課題の解決の場と捉えるための契機とする。
到達目標	・卒業研究・卒業制作等今後の学習活動の課題を知る。 ・働くことへの心構えを習得し、マナーを実践できる。 ・受入先企業の事業活動・概要を理解する。
授業外の学習	返却された『日報』をしっかり通読する時間を設け、自らの体験学習を振り返ること。
評価方法	受入先企業評価(40%)、日報(40%)、報告会(20%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	①担当教員と十分な事前相談→②受入先企業・団体の指導の下で15日間の就業体験→③報告会へ向けての振り返りと資料づくり→④報告会で発表

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	2	事前準備	受け入れ先企業の検討等詳細を相談	各コース担当教員
2	120	インターンシップ実施(15日間)	受入先企業・団体等での業務に従事(実習)	各コース担当教員
3	12	報告書とりまとめ	報告書とりまとめと報告会資料作成	各コース担当教員
4	8	報告会	プレゼンテーション形式による発表と参加	各コース担当教員
5	8	インターンシップⅠ報告会	インターンシップⅠ報告会への参加	各コース担当教員

特記事項	受入先企業・団体等の選定や事前の準備など、専攻するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業等の一員である」意識を持ち、ビジネスマナーに留意すること。また実習時の怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に注意すること。 報告会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	これまでに学び得たスキルを活かしながら「現場で必要とされる人になるには、残りの学生生活で何を学ぶべきか」を自問自答する契機としてこの授業へ臨んでください。

NO.22

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅱ (花き生産コース)	○臼田 浩通、井上 守☆、前田 宝秀	

授業形態	演習	開講時期	2年 後期	時間数	270	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	『卒業研究・卒業制作Ⅰ』の結果を踏まえ、卒業論文作成に向けた調査・研究に取り組む。PDCAサイクルを活用し、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	・課題解決力が身につく。 ・PDCAサイクルを理解する。
授業外の学習	授業時間外であっても、個別課題の調査・研究で扱う植物については常に観察を行うこと。
評価方法	取組姿勢(50%)、卒業論文(40%)、発表会(10%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	個別課題を設定し、調査・研究を行う。 PDCAサイクルを活用する。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	4	個別課題の計画	調査・研究の計画書作成	臼田・井上・前田
2	4	試験区の設置	調査・研究の試験区設置	臼田・井上・前田
3	64	調査・研究の実践	課題解決に向けた調査・研究の実践	臼田・井上・前田
4	8	進捗状況の確認	担当教員との調査・研究の進捗状況確認	臼田・井上・前田
5	4	調査・研究の見直し	調査・研究内容の見直しと追加	臼田・井上・前田
6	36	追加調査・研究などの実践	課題解決に向けた調査・研究の継続と追加実施	臼田・井上・前田
7	4	追加調査の進捗状況確認	担当教員との追加調査・研究等の進捗状況確認	臼田・井上・前田
8	20	結果の評価	調査・研究結果のとりまとめ	臼田・井上・前田
9	4	卒業論文作成準備	論文の執筆に向けた構成検討	臼田・井上・前田
10	54	卒業論文作成(下書き)	論文の執筆(下書き)と修正	臼田・井上・前田
11	16	卒業論文作成(清書)	論文の執筆(清書)	臼田・井上・前田
12	4	卒業論文見直し	論文の最終見直し	臼田・井上・前田
13	32	発表会準備	発表会の準備	臼田・井上・前田
14	8	発表会	発表と参加	臼田・井上・前田
15	8	ふり返り	発表会の反省と論文の見直し	臼田・井上・前田

特記事項	個別課題のテーマや、進捗状況などにより授業内容は変更する場合がある。 卒業論文作成及び発表に向けてしっかりと計画を立てること。 発表会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	2年間学んできたことを振り返り、学びの内容をしっかりと記録に残せるようにしましょう。

NO.23

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅱ (花き装飾コース)	○吉田 久美子☆、林 誠☆、安保 有美☆(非常勤講師)	

授業形態	演習	開講時期	2年 後期	時間数	270	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	今まで学んできたことや、インターンシップからの体験から、己の利点を更に伸ばし、弱点を捜し当て、卒業するまでの何を修得するべきなのかを探し、克服するには、何をどのように学ばなくてはならないのかを各自計画を立て、実践し、職業園芸人となるべき技術を身につけることを目的とする。
到達目標	・各自の課題設定に基づき、計画を立て、実践的な即戦力となる技術を習得する。
授業外の学習	図書室にある花き装飾系の本や雑誌『フローリスト』、『花時間』などを参考にアイデア出しを行っておくこと。
評価方法	取組姿勢(70%) 論文(20%) 発表会(10%)
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)
参考書	―
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士、2級・3級園芸装飾技能士

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画	
実習・演習の進め方	個人課題を各自設定し計画を立て、デザイン、仕入れ、制作、指摘、再制作を繰り返す。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	12	個人課題①	個人課題の研究及び制作・計画	吉田・林
2	12	個人課題②	個人課題の研究及び制作・市場での花材資材調達	吉田・林
3	12	個人課題③	個人課題の研究及び制作・生花店などでの花材資材調達	吉田・林
4	12	個人課題④	個人課題の研究及び制作・原価と売価の算出方法	吉田・林
5	60	個人課題⑤	個人課題の研究及び制作	吉田・林
6	12	個人課題⑥	学内装飾の制作とメンテナンス	吉田・林
7	16	個人課題⑦	実務者による指導	安保
8	12	個人課題⑧	個人課題の研究及び制作・振り返りと見直し	吉田・林
9	12	個人課題⑨	個人課題制作物のリメイク	吉田・林
10	16	技術指導	「花と緑の連携授業」「オープンキャンパス」などのアシスタント 1年生の「インターンシップⅠ」報告会の指導	吉田・林
11	12	個人課題⑩	制作品のまとめ	吉田・林
12	34	報告書の作成	報告書の作成	吉田・林
13	32	発表会準備	グループ及び個人課題の発表会準備	吉田・林
14	8	発表会	発表と参加	吉田・林
15	8	ふり返り	発表会の反省と論文の見直し	吉田・林

特記事項	花材や資材購入は個人負担(実習経費)となります。予算計画を立てましょう。 他の発表者に質問するなど、発表会では積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	他の人の作品からも学ぶことはたくさんあります。お互いの作品のデザインを相談したり、作品の感想などを聞いたりしましょう。

NO.24

科　目	担当教員(○主担当)	主なSDGs
卒業研究・卒業制作Ⅱ (造園緑化コース)	○相田 明、新井 俊宏☆、渡邉　三好☆(非常勤講師)	

授業形態	演習	開講時期	2年 後期	時間数	270	区分	必修	分野	課題解決

背景と目的	本実習では、2年生前期までに学んだ知識と技術の集大成として、個人及びグループでそれぞれの課題に取り組むことにより、課題解決能力の向上を図る。
到達目標	・個人及びグループが持つ課題について解決を図る。 ・その過程や結果について記録を残す。
授業外の学習	卒業研究・卒業制作に関する書籍などによる情報収集、実験についてはデータの収集。
評価方法	取組姿勢(70%)、報告書(20%)、発表会(10%)
教科書	―
参考書	―
関連する資格	―

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画

実習・演習の進め方	個人及びグループ課題を設定し、進捗状況を担当教員に報告、連絡し、指導を受ける。

回	時間数	項　目	授業内容	担当教員
1	18	個人及びグループ課題の計画①	課題の設定	相田・新井
2	20	個人及びグループ課題の計画②	既往研究や事例の調査	相田・新井
3	4	個人及びグループ課題の計画③	既往研究や事例の調査の報告	相田・新井
4	20	個人及びグループ課題の実行①	卒業研究(予備調査、予備実験)、卒業制作(現地調査)	相田・新井
5	10	個人及びグループ課題の実行②	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(計画・設計)	相田・新井
6	10	個人及びグループ課題の実行③	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(丁張)	相田・新井
7	10	個人及びグループ課題の実行④	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(広場工事)	相田・新井
8	10	個人及びグループ課題の実行⑤	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(景石工事)	相田・新井
9	10	個人及びグループ課題の実行⑥	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(広場工事)	相田・新井
10	10	個人及びグループ課題の実行⑦	卒業研究(調査、実験)、卒業制作(植栽工事)	相田・新井・渡邉
11	20	個人及びグループ課題の確認	進捗状況の報告、連絡	相田・新井
12	80	個人及びグループ課題の取りまとめ	卒業研究・卒業制作についての論文作成	相田・新井
13	32	発表会準備	個人及びグループ課題の発表準備	相田・新井
14	8	発表会	卒業研究・卒業制作の発表会参加	相田・新井
15	8	振り返り	発表会の反省と論文の見直し	相田・新井

特記事項	各自、スケジュールを計画すること。他の発表者に質問するなど、発表会では積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	2年間で学んだことの集大成として、この時間を有効に使い、積極的な取り組み姿勢で臨み、失敗を恐れず新たな課題に挑戦してください。